

VII 受験上の注意事項

数理科学専攻	24
物理学専攻	25
化学専攻	26
生命科学専攻	27,28

数理学専攻の志願者への注意

数理学専攻

1. 数学 I

微分積分、線形代数（行列、線形写像、ベクトル空間）からそれぞれ2題ずつ、計4題が出題されるので、4題とも解答すること。

2. 数学 II （夏季入試のみ実施）

以下の範囲から、基礎的な問題が9題出題される。その中から2題を選択して解答すること。

出題範囲：

代数分野（線形変換の標準形、計量ベクトル空間、群論・環論の初歩）

幾何分野（位相空間論、曲面・曲線の微分幾何）

解析分野（ベクトル解析、微分方程式論、複素関数論）

応用数理分野（離散数学、アルゴリズム）

3. 英語

数学に関する文章の英文和訳、英作文（和文英訳を含む）の2題が出題されるので、2題とも解答すること。

4. 過去に出題された試験問題（数学 I、数学 II）は専攻のホームページ（URL: <http://www.se.tmu.ac.jp/mis/>）から入手できる。

5. 第2次試験（口述）の参考資料として、アンケート調査を実施しています。受験票送付のときにアンケート調査表を同封しますので、記入の上、試験当日、持参してください。試験会場にて回収します。

6. 入学願書の志望分野番号欄に志望分野番号とその教員名も記入して下さい。

(記入例)

※ 志 望 分 野 番 号	
第一志望	第二志望
① 広尾	② 代々木

物理学専攻の志願者への注意

物理学専攻

1. 物理学の出題範囲

物理学Ⅰ：力学，電磁気学

物理学Ⅱ：量子力学，熱・統計力学

2. 合格判定の手順

・ 1次選抜

A-Dのグループごとに、筆記試験の成績上位者を選抜します。

・ 2次選抜

A-Dのグループごとに、口述試験を行い1次試験の結果と合わせて総合的に評価をし、その評点が基準点を越えた者を合格とします。

入学願書の志望分野番号欄には、分野番号およびグループ記号を、次のように記入して下さい。

・ 第1志望欄：分野番号 ①-⑯ から、1つを選んで記入して下さい。

・ 第2志望欄：グループ記号 A-D から、最大2つを志望順に左から記入して下さい。

(注意)

第2志望分野（研究室）が、第1志望分野と同じグループに属する場合にも、該当するグループ記号 A-D を第2志望欄に必ず記入して下さい。

3. 志望分野の指導教員が課程在学中に退職予定の場合は、その分野の後任教員またはグループの教員が研究指導を引き継ぎます。

4. 物理学専攻の大学院入試に関する重要な情報を以下の web サイトに掲載しています。必ず最新の情報をチェックするようにして下さい。

・ 入試全般

<http://www.phys.se.tmu.ac.jp/outside/daigakuin/>

・ 過去に出題された試験問題

<http://www.phys.se.tmu.ac.jp/outside/daigakuin/kakomon/>

化学専攻の志願者への注意

化学専攻

1. 各研究室には定員があります。そのため、志願者の成績が合格水準に達していても、志望する研究室に入れないことがあります。志望する研究室の定員や出願状況については当該研究室の指導教員に問い合わせてください。
2. 入学願書の志望分野番号欄には、下記の記入例のように、第一志望欄には第一志望の分野番号を記入し、第二志望欄には第二志望から第五志望までの分野番号を志望する順に記入してください。記入がない場合には、第二志望以下の研究室に配属されず不合格となる場合があります。

(記入例)

※ 志 望 分 野 番 号	
第一志望 9	第二志望 5、12、6、4

3. 試験問題のうち「化学」は、有機化学、生物化学、無機・分析化学、物理化学の4分野から出題されます。問題の選択方法については試験当日に配布される問題冊子の表紙に記載されます。過去の「化学」の問題は、専攻のホームページから入手することができます。

<http://www.se.tmu.ac.jp/chem/>

生命科学専攻の志願者への注意

生命科学専攻

1. 入学願書の志望分野番号欄には、下記の記入例1のように、第一志望欄には第一志望の分野番号を記入し、第二志望欄には、第二志望と第三志望の分野番号を志望する順に記入してください。

(記入例1)

※ 志 望 分 野 番 号	
第一志望	第二志望
1	15、2

2. 各分野には受入可能人数の上限がありますので、合格しても志望分野に入ることができない場合があります。志願者の成績が合格基準に達していて、既に志望する分野の受け入れ可能人数が、成績上位者によって上限に達していた場合は、「所属分野未定」としての合格となります。

このことを念頭に、志望分野の決定は慎重に行ってください。そのために、出願に先立って、志望分野の教員に連絡をとり、その分野の研究内容や構成員人数などの状況について十分な説明を受けるようにして下さい。

3. 「所属分野未定合格者」は、入学手続後に相談のうえ所属分野を決定します。入学辞退者があった場合は、「所属分野未定合格者」が当初希望の分野に所属できる可能性もあります。
4. 第二または第三志望分野で合格した場合でも、入学手続後にその志望分野への所属の放棄を申し出ることによって、「所属分野未定合格者」になることができます。
5. 所属可能な分野の情報、志望分野への所属の放棄申請手続、および「所属分野未定合格者」の所属分野決定の詳細等については入学手続終了後にお知らせします。
6. 連携客員教員の研究分野を志望する場合は、入学願書の志望分野番号欄に志望分野番号に加え、教員名も記入して下さい。

(記入例2)

※ 志 望 分 野 番 号	
第一志望	第二志望
1 三浦	15、1

7. 生物学筆記試験の過去問は、以下の生命科学専攻ホームページ「大学院入試問題（過去出題分）」をご覧ください。

<http://www.biol.se.tmu.ac.jp/>

8. 外国語の評価について

- ・ TOEFL (TOEFL-iBT)、TOEIC Listening & Reading Test、または IELTS (Academic Module) のスコアに基づいて「外国語」を評価します。スコアの提出方法等については「出願手続」をご覧ください。

- ・各スコアは、下記のとおり、200点満点に換算し評点とします。

TOEFL [TOEFLのスコア]／80×200 ただし、80点以上は200点とします。

TOEIC [TOEICのスコア]／800×200 ただし、800点以上は200点とします。

IELTS 次の表に従って、換算します。ただし、6.0点以上は200点とします。

IELTS	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0
評点	50	60	70	80	100	110	125	150	180	200